

令和3年度 美術科 <第2学年> 年間指導計画と評価規準

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようになる。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

第2学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能

思は、思考・判断・表現

主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準			評価方法
4	神明中を切り取る ～版を介した形～ <10時間>	《版画・表現》 1 版画の種類と特徴 2 「浮世絵」 3 神明中をスケッチ 4 木版画 5 鑑賞会	知	版画とは何か、種類、どのようにして作るのかなど、それぞれの版画の特性を理解し、表現したいイメージの意図に応じた表現の創意工夫がある。	主は、主体的に学習に取り組む態度	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
5			思	自分から見た神明中を表現することができる。 作家たちの作品から着想を得たり、試し刷りをしながら、どんな作品にしていくのか見通しを立てられる。		
6			主	校内スケッチから、普段見慣れた学校の良さや面白さを見つけ、作品に昇華することができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。		
7	瞬間の美しさを形に ～塑像～ <2時間>	《立体表現》 1 スケッチ 2 塑像	知	人物の骨格を意識したスケッチと立体表現ができる。 作りたい形に心棒を作り、全体のバランスが整った作品を作ることができる。	主は、主体的に学習に取り組む態度	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
			思	躍動感とは何かを考えることができる。骨格の構造、間接の動きを意識して、立体を表現している。様々な道具を使って細部まで表現しようと試行錯誤している。		
			主	人の一瞬の動きに興味をもって、身体の形や重心の変化による生命感(人間らしい生き生きとした姿)のある瞬間を作り出そうとしている。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。		
8	夏の課題 暮らしに息づくパブリックアート	町に繰り出して、暮らしに溶け込むアートを見つける。(写真を撮るまたはデッサンをする)	知	パブリックアートとは何かを考え、町の中でどのような役割をしているのか具体的に考えることができる。	主は、主体的に学習に取り組む態度	定期テスト 作品
			思	町の中でどのような役割をしているのか具体的に考えることができる。 作者の制作した意図や狙いは何なのか、考え方としてまとめることができる。		

			国	町の中を積極的に探索し、どのようなところにパブリックアートがあるのか見つけることができる。 自分だったら、どのようなアートをどこにおいて、どんなメッセージを届けたいか具体案を表現することができる。	
9	瞬間の美しさを形に ～塑像～ ＜4時間＞	《立体表現》 1スケッチ 2塑像	知	人物の骨格を意識したスケッチと立体表現ができる。 作りたい形に心棒を作り、全体のバランスが整った作品を作ることができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
			思	躍動感とは何か考えることができる。骨格の構造、間接の動きを意識して、立体を表現している。様々な道具を使って細部まで表現しようと試行錯誤している。	
			国	人の一瞬の動きに興味をもって、身体の形や重心の変化による生命感(人間らしい生き生きとした姿)のある瞬間を作り出そうとしている。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	
10	視点の冒険 ～遠近法と構図～ ＜2時間＞	《表現・鑑賞》 1遠近法と構図 2透視図法の作図 3作品の見せ方・見え方に ついて 4黄金比	知	遠近法と構図の役割や見え方を理解し、作図することができる。名画を見て、どのような効果を生み出しているのか理解している。	定期テスト 作品 授業観察 鑑賞ワークシート
			思	ルネサンス期の名画を見て、どんな図法が使われているのか自分なりに読み解き、作品に込められた意味について考えることができる。	
			国	構図や遠近法がどこに使われているのかに考え、作者の心情や意図、工夫について友人と意見を交換することができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、考えたことをまとめようとしている。	
11	クリスマスリースを つくろう ＜4時間＞	《工芸》 クリスマスリース制作	知	季節の行事に込められた思いを理解することができる。植物の種類や作り方を理解し、美しい円を意識した作品を作ることができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
			思	リースのデザインを決めて、完成予定のイメージに沿って計画的に制作することができる。植物の性格を理解し、臨機応変に作品に取り入れ、改善しながら制作することができる。	
			国	自分の住んでいる地域にある植物に触れ、季節を感じ、既設の催しを楽しみながら作ることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	
12	雪舟に学ぶ水墨画の 世界～墨の濃淡で作 る世界～ ＜5時間＞	《鑑賞・絵画》 1墨画 2雪舟 「秋冬山水図」の鑑賞 3技法	知	水墨画の技法を理解し、実際に筆と墨をある程度、使いこなすことができる。雪舟の作品の模写を通して、墨の濃淡を効果的に使うことができる。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート 鑑賞ワークシート
			思	作品に描かれてある事物や、構図、墨の濃淡などから何が描かれているのか考えることができる。 水墨画のにじみや微妙な明暗の変化を感じ取り、表現に生かすことができる。	
			国	描かれてある事物などが何なのか考え、友人と意見を交換し合うことができる。水墨画独特の表現の面白みに気づき試行錯誤している。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	
1	日本画の世界 ～自然の風景～ ＜7時間＞	《絵画》 1日本画とは 2絵具の種類と原料 3日常生活に主題を見つける	知	日本画絵具の特性を理解し、表現にあった着色や表現の工夫をしている。丁寧に作品が仕上がっている。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
2			思	日常の中に作品の種を見つけることができる。 どこを見せたいのか、誰の目線で、どのような構図がいいのか、より効果的な表現を考えられている。	
3			国	日本画に興味をもち、試行錯誤しながら余地良い作品をつくろうとしている。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	